令和7年2月13日（木） 発表

NUMAZU CITY PRESS RELEASE
沼津市　報道取材情報

〜 挑戦し続け飛躍しよう　貴き志を持つ人づくり 〜

令和6年度沼津市教育委員会教育奨励表彰式

要　旨

沼津市教育委員会教育奨励は、市立幼稚園、認定こども園、小・中学校教職員の研究活動の奨励とともに、その研究実践の質的向上を図り、本市における学校教育の健全な発展を目指すために設けている制度です。

令和6年度の受賞者20人に、教育長が表彰状と記念品の授与を行いますので、取材方よろしくお願いします。

概　要

1 日　　時　令和7年2月20日（木） 13時30分 ～ 14時40分
2 場　　所　沼津教育会館　3階会議室
3 特記事項

審査対象は、県中堅教諭等資質向上（11年次）研修（※1）の未受講者、または、今年度の受講者です。

若手教職員が自己の実践を振り返り、次のステージで実践を繋げる機会とするために設定されています。

研究内容は、授業づくり、教科研究、特別活動、特別支援教育等、それぞれの実践についての成果と課題を的確にまとめた論文となっています。

※1 「県中堅教諭等資質向上研修」とは、教諭等として在職期間が 10 年に達した者を対象とし、個々の能力、適性を高めるために静岡県教育委員会が実施する研修

（1） 被表彰者　20人（詳細は別紙）
優秀賞　1人、 優良賞　5人、 奨励賞　14人

（2） 式次第
① 教育長あいさつ
② 教育委員あいさつ
③ 受賞者紹介
④ 表彰状及び記念品授与
⑤ 受賞者代表謝辞
⑥ 優秀賞受賞研究概要報告

お問い合わせ先

沼津市役所　教育委員会事務局　教職員研修センター
直通：055－951－3425

Proud NUMAZU

添付資料　　令和６年度沼津市教育委員会教育研究奨励表彰式（報道対応用）

令和７年２月 20 日

令和６年度沼津市教育委員会教育研究奨励の結果

１　応募者　　20人

２　審査結果　優秀賞：　１人　　優良賞：　５人　　奨励賞：　14 人

〔優秀賞〕１人

学校名	職名	氏名	研究主題
長井崎小中	教諭	桐原　孝文	自ら集団づくりに参画し、合意形成によってよりよい人間関係を築こうとする児童の育成 ～特別活動を生かした学級経営～

〔優良賞〕５人

学校名	職名	氏名	研究主題
第五小	教諭	飯塚　亮太	体育科学習における個別最適な学び ～技能を高め、思考を深めるための感覚の言語化～
開北小	教諭	西尾　哲	特別支援学級における児童の自律的発達について ～応用行動分析を用いた活動の実践を通して～
香貫小	教諭	大嶽　百葉	子供の主体性を育む授業作り ～思考の過程が残るノート指導・振り返りを通して～
中等部	教諭	沼田　有代	地理・歴史・公民を横断的に結びつけて社会事象を考察できる生徒の育成 ～単元を貫く学習課題のまとめや振り返りを通して～
長井崎小中	教諭	吉永　貴洋	不登校生徒の学校復帰までの「連携ネットワークによる支援」の記録とその成果の検証

〔奨励賞〕14 人

学校名	職名	氏名	研究主題
第一小	教諭	中山　博之	子供たちが「できた・できるようになった」を実感し、学びを日常生活に生かそうとする資質・能力の育成を目指して ～育成学級での経験を生かして～
第二小	教諭	山形　俊介	主体性の基盤となる「楽しさ」を重視した授業構想による体育科の授業実践 ～チーム制の活用を通して～
第三小	教諭	中村　大地	数学的思考力・表現力が高まる授業 ～図や表などを活用して～

第五小	教諭	木村　慎太郎	進んで音楽活動に取り組む子 ～ICT の活用を通して～
今沢小	教諭	室伏　一秀	８の字跳びを通して行う学級作り ～他者とのつながりを感じられる学級を目指して～
第一中	教諭	北川　諒	一人一人の安心感を高める学級経営の研究 ～感謝の心を耕す実践を通して～
第三中	教諭	後藤　裕紀	資質・能力を育むための単元構想と評価の研究
第三中	教諭	菊澤　喬	コミュニケーション能力を育み、問題解決能力を向上させる沼津市独自の教科言語科「読解の時間」の研究
第三中	教諭	小川　友佳	言葉を吟味し、言語感覚を磨く国語の授業の実現 ～批判的な読みを通して培う言葉～
第三中	教諭	栗田　咲輝	観察・実験レポートの改善と生徒の思考の関係
中等部	教諭	岩井　聡也	生徒が自分の本音を伝えることができる道徳授業の実践
中等部	教諭	古郡　竣一	生徒が主体的に探求する力を育むための授業実践 ～中高交流授業を通して～
戸田小中	教諭	石川　林多郎	学びを実感できる国語授業の研究 ～言語活動の充実を通して～
戸田小中	教諭	岡村　一樹	特別支援学級知的児童の学習の定着についての研究 ～１対１の学習方法を試して～